

融合理工学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性）

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

融合理工学系では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理数系の分野を中心として幅広い学問に関して十分な基礎学力を有し、自分の考えたことを論理的かつ明快に説明できる基礎的能力を有すること
- ・国際社会や地域社会が抱える問題に対する興味、またそれを解決しようとする意思を持ち、そのための学問を積極的に学ぶ意欲を有すること

融合理工学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般選抜（前期日程）】《全学院共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【総合型選抜】《環境・社会理工学院》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

（A：造形課題，B：筆記・面接，C：面接のいずれかの試験を選択）

A：造形課題

高校数学Ⅲ程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチおよび説明文を解答させ，建築・都市空間の創造力を評価します。

B：筆記・面接

国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して，問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価します。

C：面接

グローバル化する環境および社会的な問題に関する独自の見解について，面接による質疑応答を行い，論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価します。

※ 学士課程2年目の系所属の際に，環境・社会理工学院では，総合問題Aを受験し合格した者は建築学系に，総合問題Bを受験し合格した者は土木・環境工学系に，総合問題Cを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属します。

融合理工学系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

融合理工学系では、「ディプロマ・ポリシー（修得する能力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行います。

- A) 広い分野に応用できる基礎学修（論理的・数学的な思考力・解析力，物理現象・自然現象に対する理解力，汎用的な計測技術・計算技術）
- B) 既存の学問分野にとらわれない応用学修（与えられた問題を適切な手法で解決できる能力，システムを理解し，運用する能力）
- C) グローバルエンジニアとしての人間力の取得（コミュニケーション能力，社会的責任感・倫理観，自主性・行動力）

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

融合理工学系では、次のような能力を修得することを目指します。

- 広い分野に応用できる基礎能力
 - ・論理的・数学的な思考力・解析力
 - ・物理現象・自然現象に対する理解力
 - ・汎用的な計測技術・計算技術
- 既存の学問分野にとらわれない应用能力
 - ・与えられた問題を適切な手法で解決できる能力
 - ・新たな技術・価値・概念を企画・提案・試行する能力
 - ・システムを理解し，運用する能力
- グローバルエンジニアとしての人間力
 - ・コミュニケーション能力
 - ・社会的責任感・倫理観
 - ・自主性・行動力